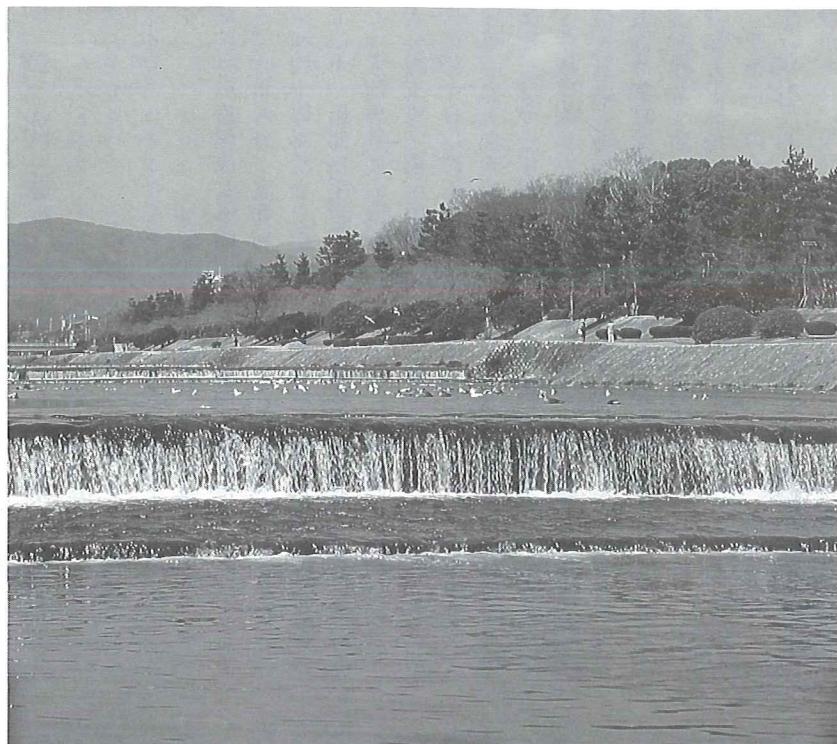


はくあい

June 1992

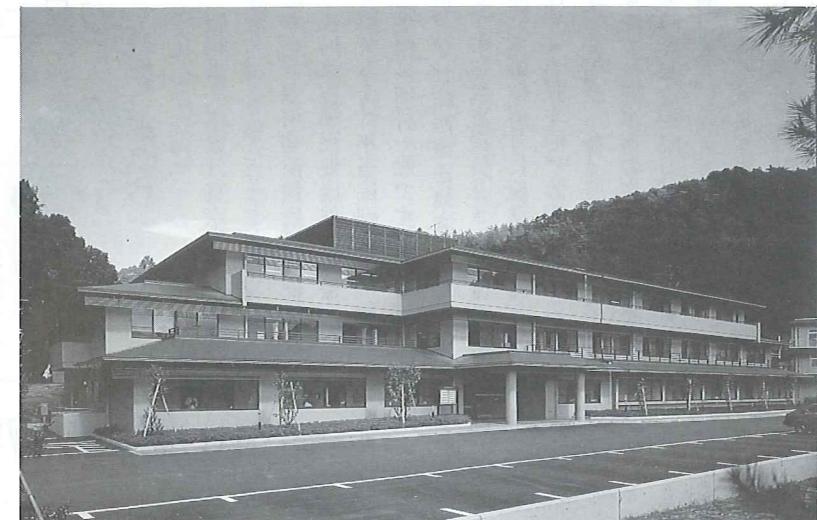
第 2 号

社会福祉法人
京都博愛会



CONTENTS

- 夏の健康
- 胆石症
- 糖尿病
- 薬のQ&A
- カルシウム
- トピックス



京都博愛会病院管理棟

病院の位置する京都・上賀茂は洛北と呼ばれ、とりわけ京都の趣きがあるところです。なお周辺には上賀茂神社・円通寺や宝ヶ池・国際会議場があります。

そして、天然記念物「深泥ヶ池」の緑豊かな敷地に、ゆったりと建てられております。

最新の医療機器を揃え、いつでも高度な医療を受けられる体制を整えています。

社会福祉法人 京都博愛会

京都博愛会病院

〒603 京都市北区上賀茂ケシ山1

TEL 075(781)1131

富田病院

〒603 京都市北区小山下内河原町56

TEL 075(491)3241

最前線

消化器疾患

京都博愛会病院長
金盛彦

無症狀

胆石症は、日本では比較的多い

今回は、胆石症とはどんな病気か、そしてどんな治療法があるのか、と言うことを中心にお話します。

胆石症とは

今日は、胆石症とはどんな病気か、そしてどんな治療法があるのか、と言うことを中心にお話します。

（胆石症とは）

胆石は、肝臓で生成された胆汁が、胆囊 胆管を経て十二指腸に至るまでに胆汁の成分が何らかの原因で高濃度となつて析出し、次第に大きくなることによつて生じ

一般に、コレステロール結石は、脂肪食を好む肥満した女性に比較的多く、ビリルビン結石は、やせた男性に比較的多いと言う傾向にあります。もちろん個々の例については、必ずしもこれらが該当するとは限りません。

古くから日本では、都市ではコレステロール結石が多く、農村ではビリルビン結石が多いと言われ

胆石症の治療法

外科的治療法

- 1) 胆囊摘除術
- 2) 胆管切開術兼胆管ドレナージ
- 3) 付加手術（乳頭形成術など）
- 4) 肝切除術
- 5) 腹腔鏡下胆囊摘除術

内科的治療法

- 1) 経口溶解療法
 - 2) 体外衝撃波胆石破碎療法
 - 3) 内視鏡的治療法
 - 4) 経皮経肝ドレナージ
 - 5) 直接溶解法

脾炎などがあり、さらにたとえ消失しても胆囊が残つてゐるため胆石再発の可能性もあります。

場合には結石生成の場である胆囊も摘除するため最も確実な方法であり、胆囊摘除後は不都合な後遺症もほとんどなく、現在でも胆石治療の主流と言えます。

またごく最近、歐米で腹腔鏡を用いて胆囊を摘除する方法が開発され、日本でも急速に広まりつつあります。開腹術に比較して手術創が小さくてほとんど目立たず、術後の痛みも軽く、入院期間も短縮されるという利点があります。

現在のところ、すべての胆石症には適応できるわけではなく色々と制約がありますが、これからもますます普及する治療法と思われます。

経口胆石溶解治療 || 胆石溶解剤を服用することによって胆石の溶

解消失を期待する方法ですが、適応は、胆囊内のコレステロール結石で、大きさはふつう長径一～二cm以内と限定されます。服用期間も一年以上と長く、肝障害、下痢などの副作用もあり、完全消失率も二〇%以下と低く、再発の問題もあり、まだ改良の余地を残しています。

体外衝撃波胆石破碎療法は種々の衝撃波発生装置により胆石を直接破碎しようとする方法で、数年前から始まりました。経口溶解療法と同様に原則として胆囊内のコレステロール結石でかつ胆囊が正常に機能していることと言った制約があり、消失率も二〇～四〇%程度であり、合併症として、血尿

ステロール結石です。このようないくつかの報告があるが、これらは無症状胆石に対し積極的に治療をするべきか否かは、意見の分かれることもある。しかし、胆囊癌の発生頻度も高く、胆石が原因となる可能性があるため、胆石に対する態度は必ずしも一概ではない。

（無症状胆石について）

内視鏡(十二指腸ファイバースコープ)を十二指腸の胆管出口(乳頭部)まで挿入し、その先端に様々な器具を装着して出口を拡げたり(乳頭部切開)、さらに胆管内の結石を摘出したり破碎したりする方法で、新しい器具も開発されており、これからは胆管結石の治療の中心として期待できます。

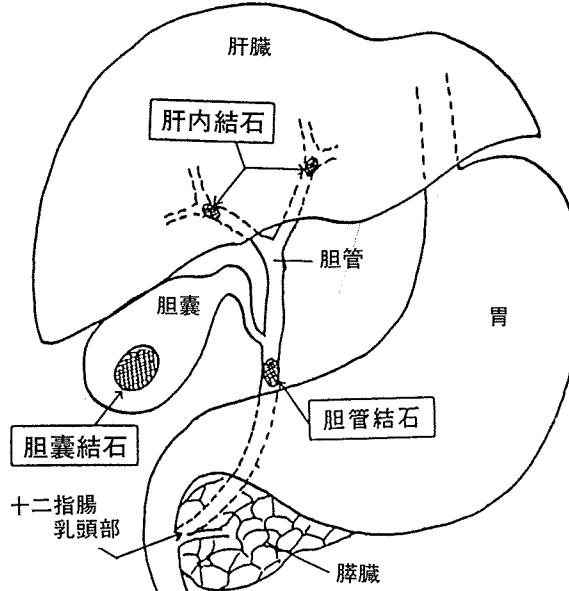
以上お話をしたように、一口に胆石症と言つても、病態は様々であり、その治療の選択も幅が広がってきました。各治療法の有効性、合併症など十分踏まえた上で、最も適切な治療を選ぶことがますます重要となつてきました。

終わりに

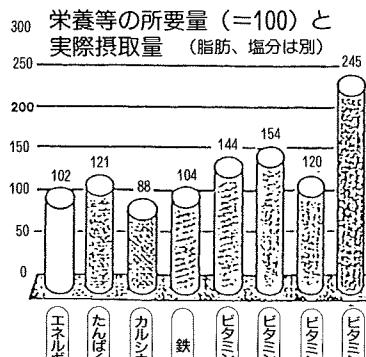
見された時点で、個々の全身状態
年齢、社会的適応など考慮した上で
積極的に治療すべきと考えます。
最近、四七歳の男性で二五年前
から胆石を指摘されていましたが
ほとんど症状がなく、仕事も忙し
いため放置していたところ、急に
上腹部激痛、黄疸、発熱を来し、
緊急で手術した例がありました。
長期間経過していたため胆囊が変
性しており、手術も大変困難で時
間もかかりました。一時は、胆囊
癌も疑われましたが、幸い癌は否
定され、術後も順調に経過しまし
た。それでも通常より長期間の入
院が必要となりました。もつと早
い時期に手術していれば御本人の
苦痛も少なかつたと思われる例で
した。

てきましたが、食事の欧米化（脂肪食増加など）により、最近では全体として地域差がなくなりコレステロール結石が増加しています。

管に結石がつまること)、感染が疑われ、増悪する時は緊急の治療が必要となります。また、一度も大きな発作を経験することなく上腹部の不快感、重圧感などの不定症状に終始する場合もあります。



管に結石がつまること)、感染が疑われ、増悪する時は緊急の治療が必要となります。また、一度も大きな発作を経験することなく上腹部の不快感、重圧感などの不定症状に終始する場合もあります。



あまがくアドバイス

2年國民栄養調査

カルシウム不足のサイン

血液中にも含まれていて、大切に働きをしています。摺り方が足りないと骨から溶けだし、骨をスカラの折れやすい状態にします。これが“骨粗鬆症”といい病気です。こうなると、ちょっところんだけで骨が折れたりします。健やかな老後を送るためにも、十分カルシウムを摂り、丈夫な骨を保ち続けられるようにしましょう。

要注意!

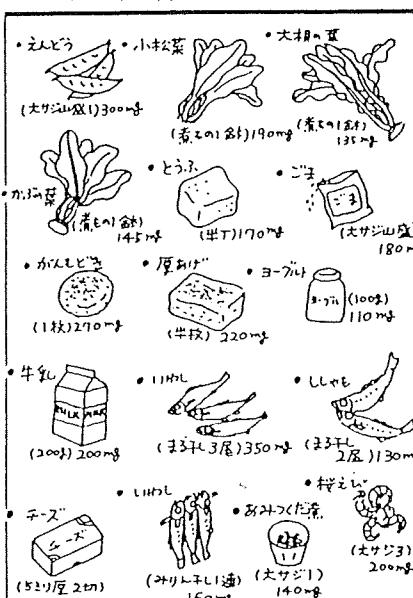
カルシウム不足のサイン

最近こんなことに思いあたることはありませんか? • イライラして、怒りっぽい。 • ストレスを

は リ ン 酸

カルシウム吸収の邪魔をする

カルシウムの多い食品



す。こうなると体内では利
用されず、排
出されてしま
います。せつ
かくカルシウ
ムを摂つても
“骨折り損”。
インスタント
食品や加工食
品の摂りすぎ

活環境の変化とともに新しい伝染性感染症（手足口病、アポロ病、リンゴ病など）が時期的、地域的に流行し、古くから有名な？麻痺や百日咳、インフルエンザなどと混じつて私たちの周辺を脅かしています。これらのかして、この病気は、ウイルスや細菌によって発症しますが、様々な経路で感染が拡がりますが、特効薬がないため重篤な合併症

A **Q**
皆さんは子供の予防接種の意義とワクチンについて教えて下さい

表1 ワクチンの種類			
生ワクチン	ウイルス	麻しん、おたふくかぜ、風しん、MMR、水痘、ポリオ、黄熱	
	細菌	BCG	
不活化ワクチン	ウイルス	インフルエンザ、日本脳炎、狂犬病、B型肝炎	
	細菌	百日咳、コレラ、肺炎球菌	
	レブトスピラ	ワイル病熱やみ	
トキソイド	毒 素	ジフテリア、破傷風、はぶ毒	

表1 ワクチンの種類

や後遺症を引き起こしたり、死亡者が出たりするきわめて危険なものもあるのです。

です。社会的問題となつてゐるエイズや最近よく耳にするC型肝炎について未だ解説されていない部分もあり、従つて予防ワクチンも開発されていません。

健康で幸せな生活を送るため、乳幼児から大人の方に至るまで計画的に予防接種をお受けになつてくださいね。詳しく述べは当病院へ!!

表2 主な孟彷接種

病名	接種対象	注意
百日咳(破傷風)	1期:生後3~48月 2期:1期終了後1年~1年半 3期:12歳(小学校6年)	1期は乳児期から始めることが望ましい 1期、2期は3種混合ワクチンで行う 3期は2種混合ワクチンで行う
ポリオ	生後3~48月(なるべく生後18ヶ月までにすませる)	夏季は避け、下痢のときは延期する 必ず2回以上
麻疹	生後12~72月(集団生活に入る前までにすませる)	希望すればMMRワクチンを定期で受けられる
風疹	13~15歳の女子中学生(その他の希望者は任意接種で)	麻疹のとき希望すればMMRを小児期に受けられる 成人女性
麻しん(おたふくかぜ)(風しん)	生後12~72月	麻疹のとき希望すればMMRワクチンを定期で受けられる
結核	(1) 4歳まで (2) 小学校1年生 (3) 中学校1年生	初めての接種は12月末満てて行うとよい ツベルクリン反応が陰性のときBCG接種
インフルエンザ	保育所、幼稚園、小学校、中学校、(高等学校)の児童生徒(その他の希望者は任意接種で)	毎年3~4週間隔で2回注射 年齢によって接種量が異なる 流行期前に2回目の注射を終了する
日本脳炎	3~15歳(その他の希望者は任意接種で)	初めての年は2週間隔で2回、翌年1回注射、以後は1~4年ごとに1回注射 流行期(7~9月)の前に終了する
おたふくかぜ	1歳以上の未罹患者	小児(12~72月)は希望すればMMRワクチンを定期で受けられる
水痘	水痘が重複になるハイリスク者 未罹患の成人、健康小児	ハイリスク者では細胞性免疫を確認する
B型肝炎	(1) 母子感染防止(新生児) (2) ハイリスク者、希望者	出生直後と生後2月にB型肝炎免疫グロブリン、ワクチンは3回注射 ワクチンは3回注射

ヴィクトリア女王 (1819~1901)

1837年6月20日よりグレート・ブリテン64年間統治
「ヴィクトリア王朝」

4人、女5人出産したが血友病の遺伝子保有者であったもののうちのヨーロッパ王室の歴史に重大な影響。身症気味で王室医師団は主治医、専門医含め18名。薬剤3名にのぼる。

歳頃からリウマチ、81歳で目をわずらい＆不全失語症の如きにはいった。1901年衰弱が進み死に導かれたが心臓は最後まで力くうちに続けていた。



